

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1139		
科目名	政治学 1		
担当教員	日吉 秀松		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 1		
講義室	1313	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養・市民的教養〕市民的素養・市民的教養] 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP7-C〔他者理解・倫理観・公共心〕人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 ■ CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンスルーブリック（CR）との関連 C1倫理的思考・社会認識（20%） D1市民的素養（20%） E1学識と専門技能（20%） I1理解・分析と読解（20%） J1継続的学習基盤（10%） K1ライティング・コミュニケーション（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■ 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期～3 発展期		
科目概要・キーワード	政治とは利害調整の仕組みであるため、国家にせよ集団にせよ、人が集まるところに政治は生じます。そうであるにも関わらず、政治に関心ない人が増え、民主主義の根幹を揺るがす事態に陥っています。本講義では、政治学の基礎を学び、各自が自分と政治との関係を見直し、政治に関わる諸問題を積極的かつ主体的に分析し、民主主義の危機と対峙する力を養います。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 （キーワード）政治権力、イデオロギー、政党		
授業の趣旨	副題 政治と人間関係を確認し、現実の政治を観察する。 ■ 授業の目的 政治への関心を高めるには、人間と政治の関係を見直したうえで、よりよい政治を実現する必要があります。そのため、政治を研究対象にする学問である政治学に求めます。本講座では、政治学に関する基本的な概念、理論などを学び、実際の政治的な動向を観察し、分析する力を身に付け、市民参加のためのコミュニケーション能力を高め、よりいっそう政治に興味と関心をもたせることであります。 ■ 授業のポイント 政治権力とはどのような力なのでしょうか、具体的には1）強制力 2）説得力 3）操作力といった三つの力があると考えられます。強制力とは、「相手に対し有無を言わず服従を強いる行為である」。この強制力には最も典型的なのが、物理的強制力としての警察や軍隊であります。この物理的強制力を用いて服従を調達する場合は、一時的に効果を発揮することができますが、コストがかかるし、必ずしも有効な手段とは限りません。ません。強制力を用いることに比べると大変賢明な方法は説得力であります。権力者が服従者を内面から納得させようとして支配を行います。服従者を納得させるためには、直接対話、公の場での議論、マスメディアを通じての宣伝などの方法があります。強制力や説得力のほか、権力者は世論や情報を操作する力を持っています。「人間の精神がもつ非合理的なものや感情的なものの方が操作されやすいとされている」ため、独裁的な国家では操作力を用いて強権政治を展開します。政治権力を理解することによって、各種の政治体制の本質を解明することができます。		
総合到達目標	■ 市民的素養やコミュニティの能力を高めるために、政治学の基本的概念を修得し、古代から近代までの政治社会の特質や諸問題をそこで生まれた代表的な政治思想を理解し、政治に関する基礎的な知識と政治について積極的・主体的思考する能力を身につける。 ・政治学の基礎知識を修得し、政治をめぐる諸問題について政治学の視点から考察できる。（第1回～第15回） ・政治学の基本的概念の学習を通して、諸政治思想の重要な概念を的確に説明できる。（第2回～第6回） ・政治権力の構造を理解し、世界の政治体制を比較することができる。（第8回～第14回）		
成績評価方法	■ レポート3回（60%）:適用ルーブリック C1 D1 K1 I1 （評価の観点）権力と関連するテーマで、学習者の思考力を確認し、授業の内容を踏まえて自分の考えを示せるかどうか、レポートの書き方の正確さを評価します。 （フィードバックの方法）提出されたレポートをチェックし、課題の設定やレポートの書き方などについて説明します。 ■ リアクションペーパー（40%）:適用ルーブリック J1 K1 （評価の観点）毎回の授業の振り返りによって、学習者の学習状況を確認し、自発性を持つかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）毎回の振り返りをチェックして学習者に返し、質問に対して回答します。		
履修条件	特にありません		
履修上の注意点			
授業内容	回	内容	
	1	① 授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の方法、成績評価の方法等の説明)、政治とは何か ② 授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、成績評価の方法について説明を行い、政治と人間社会の関係について説明し、政治への関心を育てる。 C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③ 予習(120分) 教科書『新編 現代政治過程』第14章「日本政治の諸問題」を読み、事前に学習ノートをとる。 ④ 復習(120分) 授業を振り返り、授業の目的と到達目標を確認する	

2	①授業テーマ 政治と政治学 ②授業概要 政治学の研究対象について説明する。また、現代政治学の系譜について修得するとともに政治学への理解を深めることを目的とする。 C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 事前に配分した政治学の研究方法に関する資料を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。
3	①授業テーマ 社会契約説 ②授業概要 理論面において、近代国家形成に大きく寄与したのがホッブズ、ロック、ルソーの社会契約説の内容およびそれぞれの歴史的背景について説明することで、社会契約説などの概念を理解することを目的とする。C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 教科書『新編 現代政治過程』第2章「近代政治原理と国民国家」を読み、事前に市民革命について調べておく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。
4	①授業テーマ 政治イデオロギー（1） ②授業概要 イデオロギーの概念についての説明、とりわけマンハイムの思想を紹介したうえで、イデオロギーの政治的機能やイデオロギーの形成、変化、崩壊といったプロセスについて理解を深めることを目的とする。C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 事前に配布したイデオロギーに関するプリントなどを読んでおく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。
5	①授業テーマ 政治イデオロギー（2） ②授業概要 政治イデオロギーとして自由主義、保守主義、社会主義、ファシズム、民主主義を説明し、それらの概念について理解を深めることを目的とする。 C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 教科書『新編 現代政治過程』第2章「近代政治原理と国民国家」およびJ・S・ミル『自由論』（ページ指定）を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。
6	①授業テーマ 民主主義論 ②授業概要 民主主義の歴史を概観し、古代ギリシャの直接民主主義と近代の民主主義、さらに現代の民主主義の性格における比較を行い、その違いを理解することを目的とする。C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 古代ギリシャの民主主義について調べ、配布した民主主義に関する資料を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。
7	①授業テーマ 政治権力 ②授業概要 権力を力として捉え、その力を実体的なものとして見る見方と人間間の関係として見る見方がある。それについて、実体概念と関係概念、さらに政治権力の資源や権力とパーソナリティ、少数支配の原理などを理解することを目的とする。C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 権力の基底価値を調べ、教科書『新編 現代政治過程』第1章「政治権力」を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。
8	①授業テーマ 権力の正当性 ②授業概要 権力を維持し、安定するためには、自発的に権力に服従するような権力の正当性の信念を服従者に植え付けることが必要である。そこに、さらにウェーバーが示してくれた支配の三類型、メルナムが提示したミランダとクレデンダの概念を通じて、権力と権威の関係について理解を深めることを目的とする。 C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 教科書『新編 現代政治過程』第1章「政治権力」およびマックス・ウェーバー『権力と支配』（ページ指定）を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。
9	①授業テーマ 権力の構造 ②授業概要 1950年代のアメリカ社会を歴史的に分析したC・W・ミルズの「パワー・エリート」論や権力構造の多元性を唱えるダールの「ポリアーキー」理論などを通じて権力の構造に関する理解することを目指す。C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 教科書『新編 現代政治過程』第1章「政治権力」、『パワー・エリート』（ページ指定）や『ポリアーキー』（ページ指定）を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。
10	①授業テーマ リーダーシップ論 ②授業概要 今日の社会において、組織なしに個人が社会的な影響力をもつ活動を展開することは殆どありえない。その故に、さまざまな組織が登場したが、組織の維持と運営の効率化を図るために適切なリーダーが必要とする。ここでは、権力とリーダーシップの関係、概念としての区別などを理解することを目的とする。 C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 事前に配布したリーダーシップに関する資料を読み、学習ノートをとる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。
11	①授業テーマ 近代国家の制度的特徴 ②授業概要 市民革命の後に、成立された近代国家の政治機構を支える基本的な政治原理である立憲制と権力分立制および代表制について理解を深めることを目的とする。 C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 教科書『新編 現代政治過程』第2章「近代政治原理と国民国家」の立憲主義(法の支配)を読み、事前に学習ノートをとる。

	④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。 ①授業テーマ 権力分立と腐敗防止 ②授業概要 「権力は腐敗する、絶対的権力は絶対に腐敗する」というアクトンの言葉は有名である。その腐敗しやすい権力を分立させることを考え出したのが、ロック、モンテスキューなどであった。ここでは、ロックやモンテスキューの権力分立論について理解を深めることを目的とする。 C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 政治権力と関係する腐敗の実例を調べ、事前にその腐敗を分類し、学習ノートをとる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。 ①授業テーマ 政治制度 ②授業概要 世界の主要な国々にみられる政治機構の枠組みを学び、大統領制や議院内閣制、民主集中制などについて理解を深めることを目的とする。 C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 教科書『新編 現代政治過程』第3章「政治の制度・仕組み」を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。 ①授業テーマ 有権者と政治への関心 ②授業概要 有権者の投票行動、政治意識について学び、日本の有権者の政治的無関心と無党派現象などについて理解を深めることを目的とする。 C1,D1,E1,I1,J1,K1 ③予習(120分) 教科書『新編 現代政治過程』第7章「有権者」を読み、事前に学習ノートをとる。 ④復習 (120分) 授業を振り返り、講義ノートを整理し通読する。 ①授業テーマ 総括 ②授業概要 1 4回の授業の学びを総括し、期末試験を行う。C1,D1,E1,I1,J1,K1 フィードバックの方法：出題意図や試験問題の解答要点などを説明する。 ③予習(120分) 講義ノートを整理し、14回分の授業内容を確認し通読する。 ④復習 (120分) 期末試験問題と関連して、自己点検および反省点をまとめる。
関連科目	政治学 2 (RMGT/SSCS 1140)
教科書	秋山和宏、照屋寛之 編著『新編 現代政治過程』三和書籍 2018、ISBN978-4-86251-317-5
参考書・参考URL	佐々木 毅『政治学講義』東京大学出版会、2012、ISBN 978-4130322225 川出良枝ほか『政治学』東京大学出版会、2012、ISBN 978-4130322195
連絡先・オフィスアワー	連絡先 開講時に告知します。 オフィスアワー 金曜日11：00～12：30 それ以外の時間については、メールにて相談したうで対応します。
研究比率	

